

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2014
vol.210

毎月1日発行

11月号

杜の伝言板

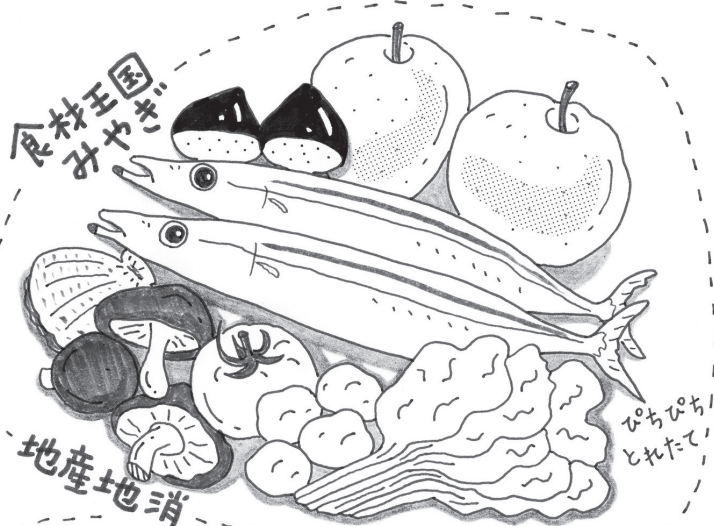
ゆるる 月刊

11月は
みやぎ食育推進
月間です

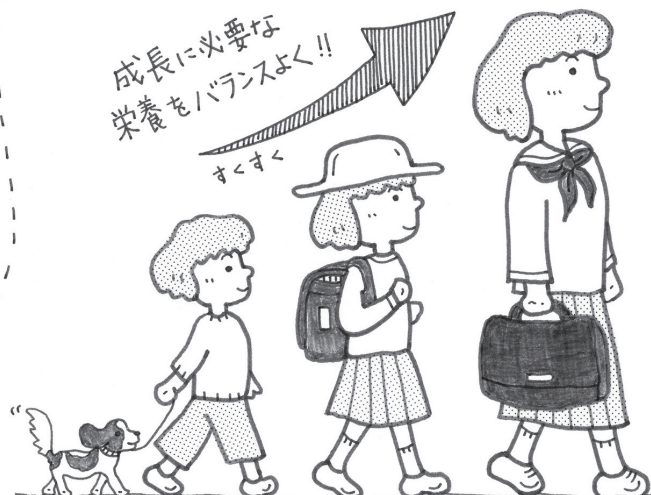
みんなで食べると
楽しいね



きのこ



成長に必要な
栄養をバランスよく!!
すくすく



特集

●押しよせる、子どもの貧困 NPO法人アスイク

●11月は「みやぎ食育推進月間」です!

子どもの食事研究グループ
食育NPO「おむすび」

復興への道 被災地レポート～石巻編～

お母さんたちが作る笑顔と安心のカフェ
NPO法人夢みの里

トピックス

仙台から発信! 「女性と防災」テーマ館
公益財団法人せんだい男女共同参画財団

みやぎNPOプラザからのお知らせ

課題や可能性探る

ーにぎやかに みやぎNPOフォーラムー

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



押しよせる、子どももの貧困



● NPO法人アスイク 代表理事 大橋 雄介

見ようとしなければ
見えない、貧困問題

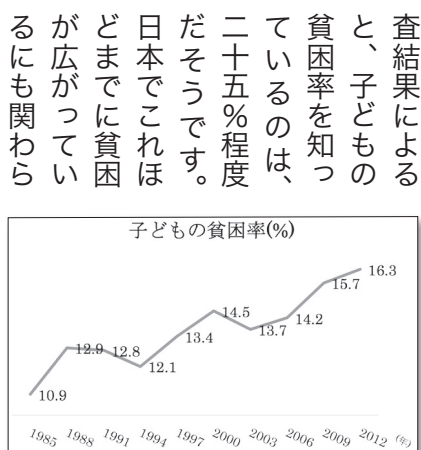
今年七月に厚生労働省が公表した子どもの貧困率は、十六・二％。統計開始から、過去最高を更新しました。私たちのように仕事として貧困問題に取り組んでいると、この数字はほとんどの国民が知っているものだろうと思ひこんでしまいますが、大学や講演会などで貧困率をお話すると、驚かれたり、ピンとこないという表情をされることも多々あります。ある調査結果によると、子どもの貧困率を知っているのは、二十五％程度だそうです。日本でこれほどまでに貧困が広がっているにも関わらず、市民の認知はまだまだ追いついていません。

この背景には、日本における貧困が大変見えにくいことがあると思います。子どもたちはボロボロの服を着ている訳ではありませんし、スマホを持っている子どもも珍しくないため、パツと見て貧困と気づくことは困難です。

● ● ● ● ●
ひと言で説明しがたい、
貧困問題
● ● ● ● ●

さらに、生活困窮家庭ほど、社会との接点を失いがちであることも、見えにくさの要因でしょう。たとえばパートを三つも掛け持ちしているひとり親家庭であれば、地域や学校の行事などに出席することも難しいですし、生活保護を受けていけば、後ろ指をさされたくない、あるいは精神的な病気などの理由で外部との接点が極端に失われていきます。

加えて、居住地域や所属集団による社会階層の分断が進んでいることも貧困を見えにくいものとなっています。地価や教育水準の高い



▶ 図1 子どもの貧困率

所の会場は、どこもすぐに満員になってしまふほどの状況です。

さらに、事業に参加している子どもたちを見ると、それぞれが複合的な問題を抱えている実態が浮かび上がってきます。子どもの貧困というと、塾に行くことができないため低学力で、進学や就職で不利を抱えるという単純化された図式で語られることがあります。が、現実はそのほど分かりやすいものではありません。

たとえば、比較的多く遭遇するのは、DVや虐待の被害経験がある子どもたちです。精神的な傷を抱えていたり、シエルターに避難して学校に行っていないといった時期があるなどの背景から、学校の授業についていくこともできなければ、前向きに将来のことを考える気持ちも湧かず、生活習慣の乱れや問題行動も目立ちます。

親や兄弟姉妹を支えるために、自分の人生を犠牲にしている子どもたちもいました。シングルマザーの母親を早く楽にしてあげたいから、高校には進学しないですぐに就職したい。親は夜に仕事に出ているため、小さい弟や妹の食事から何まで自分で面倒をみなければならぬ。

保護者の価値観が子どもの考え

方に強く影響を与えている状況にもよく遭遇します。たとえば、親が働いている姿を見たことがないので、自分も生活保護を受けなければならないと考えている子ども。親が中卒でやってこられているんだから、お前も中卒でいいといわれている子ども。親戚一同十代で子どもを産んでおり、自分も十代で子どもを産むのが当たり前だと思っている子ども。

ここで挙げたものは、私たちが日々遭遇している現実のほんの一握りにすぎません。この他にも、障がいや病気、金銭的な問題など様々なものがあり、子どもたちが抱えている問題を類型化することは極めて難しいのが現実です。

●●●●● 必要なのは、包括的な サポートと地域での連携体制 ●●●●●

このように、子どもたちが抱えている問題が多様で複雑であるからこそ、それぞれの事情に合わせて個別に対応すること、子どもだけでなく保護者や社会との関係にまで介入することが必要だと私たちは考えています。

私たちが手掛けているのは学習支援という名称ではありませんが、学校にもなじめず、家でも誰にも

相談できず、とにかく自分の話を聞いてほしいという状態の子どもがいれば、まずは勉強をしなくても責めず、ひたすら話し相手になることもあります。

また、孤立している子どもや保護者たちとつながりを作り、丁寧に関係を築いていく中でそれぞれが抱えている問題を拾い上げ、必要に応じて行政やNPO等の外部の社会的資源へつないでいくことにもチカラを入れています。学習支援は生活相談、虐待相談などと違って、受けるのに抵抗を感じにくい支援ですから、孤立している家庭との関係性を作りやすいという特性を生かしたアプローチです。



▲子どもに寄り添う

前述のように、子どもや保護者が抱える問題は多種多様なため、当然それらを私たちだけで解決することは不可能です。だからこそ、行政や他のNPOを含め、多様な社会的資源と協力関係を築き、ネットワークの中で子どもと保護者を支えていくというスタンスが大切です。相談支援や就労支

援を行なう一般社団法人パーソナルサポートセンターや、家計支援やフードバンクを手がけるみやぎ生協を始め、多数の機関との連携体制ができておりつつあります。

●●●●● これからの力ぎは、NPOや 市民の声、人材の育成 ●●●●●

貧困問題の深刻化を背景に、国も対策を取り始めています。二〇一三年十二月には、生活困窮者自立支援法が国会で成立。生活困窮者に対する相談支援、就労支援、一時生活支援、家計支援、学習支援などが、法律に基づいた事業として全国の自治体で実施できるようになりました。継続性の薄い補助事業ではなく、半恒久的な業を展開できるようになったことは大きな前進です。

その一方で、学習支援を含む多くの事業が任意事業という位置づけであり、地方公共団体の財源負担も必要になるため、任意事業は広げられないという結末になることも危惧されます。現場で貧困にあえぐ子どもたちと接するNPOや市民一人ひとりが、事業の必要性を発信し、行政を後押ししていかねばなりません。

また、支援事業の中核を担う人材の発掘と育成も、これから直面する課題の一つでしょう。

困窮者の支援事業の質は、それに関わる人材の質とほとんどイコールです。しかし、助けの求め方も分かなければ、自分が困っていることすら気づかない人たちと関係を築き、声を拾い上げ、複雑な事情を整理し、適切なサポートを提供していく仕事は、誰でもすぐにできるようなものではありません。

ひと言でいえば、よりたくさんの市民が貧困問題を知り、関わるキッカケを広げていくこと、生活困窮者の支援活動を仕事として成立させていくことが、私たちのようなNPOがよりチカラを入れていかなければならないことでしょう。



▲課外プログラムの様子

NPO法人アスイク

仙台市宮城野区榴岡5-3-21
コーポ小松101
●TEL : 022-781-5576
●URL: <http://asuiku.org>

11月

「みやぎ食育推進月間」

です！

『食べる』ということは生きる力としてとても大切なことですが、朝食抜き、間食過多、偏食など、食べ方として問題が見られるほか、食事の作り手の稚拙さ、食材の安全などを心配する向きも多くなっています。今月は、何をどのよう

に食べるか、いつ、だれと食べるか等、様々な経験を通じて「食」に関する知識や「食」を選択する力をつけ、健全な食生活を実践する人を育てる『食育』の活動をしている二団体の活動紹介です。

子どもの偏食は自己主張の第一歩！

子どもの食事研究グループ
代表 豊嶋賀代



二〇〇五年に「食育基本法」が制定され、改めて「食」について考えさせられる事が多くなりまして。メディアや雑誌などで溢れて

いる食や健康に関する情報に戸惑う方も多いのではないのでしょうか。特に子育て中は幾つになっても悩みは尽きません。

仙台市地域活動栄養士会（設立昭和四十四年）、の「子どもの食事研究グループ」では、そういった子育て中の食に関する悩みや相談のアドバイスを含む、様々な活動を続けております。

『バーラちゃんの非常食BOOK』発行

二〇〇〇年に、グループの看板娘、オリジナルキャラクターであるバーラちゃんが幼児期の食事について分かり易く教えてくれる手作りの小冊子「ルンルンこどもの『お食事BOOK』」を発行し、様々な地域や子育てサークル、保護者や子どもの食に関係する方にご利用頂いています。その後、二〇〇九年に、当時は必ず来る、と言われて

いた宮城県沖地震に備え、非常食の食事本の作成に着手しました。日頃、多くの家庭ではお総菜の利用が多く、備蓄への関心が薄い等の現状から、絶対に必要だ、と確信しての取り組みでした。

完成直前に起こった東日本大震災。実際に体験したことを無駄にせず、子どものいる家庭で普段から心がけておく事、非常時の小さい子ども向けレシピ等、実際に役立つように作り上げ、二〇一二年、非常時に役立つ子ども向けの食事本「バーラちゃんの非常食BOOK」もしもの時に困らない食生活のために「」を発行しました。全国からの問い合わせもあり、「子どもだけでなく、大人や高齢者にも役立つ」と皆さんの非常時の食に対する意識の高さを痛感しています。



▲バーラちゃんの非常食BOOK

親子のための料理教室

グループの構成メンバーはフリーで活動する栄養士、管理栄養

士。保健センターなどの行政機関嘱託員や学校の非常勤講師、企業など幅広い仕事と家庭生活を担いながらの活動です。今年で二十一回目となる「託児つき料理教室」を毎年一回、開催しています。参加者のお子さんは別室で託児担当のメンバーと過ごし、料理が完成したら、一緒にランチ。参加された方からは、「小食なお子さんがモリモリ食べたり、普段は食べない食材を食べてくれたりと、わが子の意外な一面を発見する機会となりました。自分自身の食に対する意識が変わった」という感想を頂いております。

この他、年に一か所、子育てサークルでの出張講座を行う「子育て応援キッチン」や、市民センターや小学校等からの講座や親子料理教室等の講師も派遣しています。



▲おくずかけ(右下)などの非常食

活動の中で大切に思う事は、時代や環境の変化を受け止め、個々に対応すること。その方の生活を変えてしまうかも知れないという

責任を重く感ずることです。このことはメンバー全員が抱える課題かと思えます。自分だけの考えや情報だけを伝えるのではなく、周りの様々な考えにも柔軟に対応し、相手の目線になって受け止める。特に不安の大きい子育てに奮闘する方へ、安心できるサポートができればと思っています。

最後にこれまでの活動から感じている食の悩みに対する一つの提案をさせていただきます。それは、子育て中の食の悩み。それは、成長の証、人生初めての自己主張！と大らかにとらえ、周りが美味しそうに食べる環境を整えることから始めてみましょう。

子どもの時から食育を！

食育NPO「おむすび」

代表 清水 智子

家庭生活の変化、社会環境の変化は、食生活や健康にさまざまな問題をなげかけています。「いつでも、どこでも、食べものを簡便にとることができる」食生活環境は、従来、当たり前のように家庭で行われていた食生活を営む基礎的な知識や技能を低下させています。健やかに生活するためには、

誰もが実際に調理できることが大切です。「食育の基盤は、家庭の食事作りから」そんな思いを持った四人の主婦が食育NPO「おむすび」を二〇〇七年に立ち上げ活動を始めました。



▲「おむすび」を立ち上げた4人

食事作りを通して、子どもたちはさまざまな力を身につけることができます。最近では、朝食を食べない子、ファーストフードやお菓子ばかりと偏った食事や、好き嫌いをする子どもが増えています。このことは子どもの問題ではなく大人の問題です。私たち大人が食生活を見直し、子どもと一緒に、地域の旬の食材を活用した料理作り（地産地消）、食べものを生産する過程の学習や体験、食文化（和食）の伝承、食と環境保全など日常生活の中で実践していくことが必要です。

●●●●● 食の楽しさ、大切さを伝え つくる人とたべる人をつなぐ

活動の一つに料理教室があります。主催する年四回の「お魚がきつ

と好きになる料理教室」のほかに、幼稚園や小学校、児童館、他のNPOからの依頼もあり、仙台市を中心に宮城県内で活動を行っています。食材は地産産や国産のものを使用し、このだけだかのように作ったかをできるだけ伝えていきます。手軽にできる家庭料理、郷土料理（はらこ飯・ずんだもちなど）、ハ



▲親子料理教室

レの日料理（おせち・節句のお祝い膳など）、精進料理やみそ作りなど実に多彩に取り組んでいます。そしてもう一つの活動は体験学習です。流通の現場を知ってもらうため「親子で市場を体験しよう（仙台市中央卸売市場）」や生産地を訪れる「秘伝豆収穫体験（角田）」などを開催しています。

この間の活動は一五〇回を超えています。毎回行っている参加者アンケートからは、「作ると食べるのも楽しかった」「子どもと一緒に作る大切さ学びました」「おせち今年は作ってみました」「かつ

お好きになりました」「にがてだったトマト食べたよ」「家でも包丁使わせてみます」などいろんな声が聞かれます。

私たちの活動は、賛助企業（十五団体）や会員（一五〇名）、その他専門家やNPO、行政など多くの人に支えられています。二〇一二年三月には、これまでの活動をまとめた冊子「笑顔をつなぐ『食』の楽しさ大切さ」を発行し、小学校や幼稚園、社会学級などに寄贈し、多くの人に私たちの活動を知ってもらうことができました。活動を進めていく上で情報発信は、ネットワークの大きな力になっていきます。年六回発行している情報誌「おむすび便り」や、ブログ「おむすびちゃんとむすぶくんからこんにちは」で引き続き情報発信をしていき、二つの活動をさらに広げていきます。
URL: <http://blog.canpan.info/omusubi/>

『三つ子の魂百までも』の諺のように、食習慣もその通り。「食」に関して様々なこだわりを持って取り組んでいる団体がたくさんあります。もう一度、「食」について見直してみましょう。

お母さんたちが作る 笑顔と安心のカフェ

レポーター紹介

NPO法人いしのまき
NPOセンター
武山 加奈さん

いしのまきNPOセンターのスタッフをしています。中間支援団体として、石巻市NPO支援オフィスの施設管理、巻.com（ポータルサイト）の運営をしています。

今年十月十日、NPO法人夢みの里が運営する「街角Café桜」が石巻市不動町にオープンしました。このカフェは、障がいを持ったお子さんのお母さんたちがスタッフとして働いています。団体のもうひとつの顔である、社会福祉法人夢みの里が運営する「高齢者デイサービス・談話室&カフェ桜・さくら」の建物を使用し、開業資金には助成金を活用しました。

お母さんたちの思いから

カフェスタッフの一人であり、夢みの里が運営する学童保育を利用している熊谷宏美さんは、支援学校を卒業した後の子どもの将来が不安でした。そのことを夢みの里の理事長である菅原桂子さんに相談すると、「自分たちで何とかしよう」という思いがなくなちゃ、子どもの将来を語ることはできないわよ」と言われ、それがカフェに挑

戦してみようと強く思ったきっかけになったと話します。

学校を卒業した子どもたちや、その家族が安心して働ける職場であり、同じ悩みを抱えたお母さんたちや、地域の人たちにも気軽に来てもらえて、夢みの里の就労施設で作られた野菜などを使った食事が提供できて……。そんなお母さんたちのたくさんの思いが形になったカフェは、なんと約一か月で完成したそうです。「コーヒの淹れ方から改装からやることがいっぱいで、大雨で浸水して一からやり直しにもなつて……。でもたくさんの方が協力して下さい、オープンすること



▶十月にオープンした「街角Café」の外観

ができた。頑張った理由。張れた理由。自由。一つ、ずつとお世話にな

り続けてきた菅原さんへの恩返しをしたいという気持ちがあったんです」と話す熊谷さん。

理事長の菅原さんは以前から「相談支援事業所は敷居が高くて行きにくい。事業所に出向く前の、気軽な話もできる場所があったら嬉しい」とお母さんたちから声が上がっていたことや、そんな同じ思いを抱えたお母さんたちのコミュニティを作りたいという思いがあったことがあり、自家製の料理を提供するお洒落なカフェを作れたらと思うていたそうです。そこで菅原さんはたびたび「カフェやってみたい？」とお母さんたちに声を掛けてきました。自分が率先して動くのではなく、お母さんたちに動き出してほしいという気持ちがあったからです。

「えがお」と「あんしん」を 得られる場所

メニューはランチ二種類（おに

ぎり、カレー）とケーキセットがあり、それぞれ五〇〇円です。カフェの二階は、町内会の寄り合いや、講演会などを想定したフリースペースとなっていて、カフェで食事をするのと二時間無料で利用できます。町内会の方から「お店が少なく寂しい地域なので、こんな場所ができて嬉しい」という声も聞かれました。地域を元気づける力にもなってくれそうです。

お店のコンセプトは、「調味料は『えがお』、お土産は『あんしん』。『美味しいものを食べて、他愛無い話をしてリフレッシュしてほしい。支えてくれる人がたくさんいる、孤立しているわけじゃないと、安心して帰ってほしい。そして、カフェがもっとより良い場所に成長できるよう、皆さんの声を届けて下さいね。いつでもお待ちしております」と熊谷さん。

菅原さんとお母さんたちの夢が詰まった素敵なカフェに、ぜひ足を運んでみて下さい。

街角Café桜(NPO法人夢みの里)

〒986-0017 石巻市不動町2-8-5
●TEL/FAX: 0225-94-7210
●時間: 10時～17時
(ラストオーダー 16時半)
●定休日: 木曜日

第3回国連防災世界会議
開催都市 仙台

仙台から発信！ 「女性と防災」テーマ館

●公益財団法人せんだい男女共同参画財団
エル・パーク仙台管理事業課管理事業係

荒井康子



仙台市男女共同参画推進センターエル・パーク仙台は、第三回国連防災世界会議において「女性と防災」テーマ館となり、このテーマに関連した一般公開事業が集中して行われる予定です。

震災の翌年に仙台で開催した日本女性会議においても、「防災・復興と女性」をテーマに据え、復興の担い手として、女性たちが意思決定の場に参画し、責任を果たしていこうとのメッセージを発信し、多くの方に関心や共感を寄せていただきました。エル・パーク仙台が「女性と防災」テーマ館となることは、仙台の女性たちが三・一一からの課題について発信し、「防災・復興」の分野で男女共同参画を加速化する、絶好の機会です。

三・一一からの課題

東日本大震災の後、長期化する避難生活の中、育児や介護、障害や持病のある方など多様な背景をもつ被災者それぞれに困難がありました。とりわけ女性に関しては、トイレや着替えなどに困ったり、妊娠婦へのケアや授乳中の女性に必要な物資が不足したところもありました。また、シングルマザーの困窮も深刻化しました。ジェンダーに起因する問題が大災害によって顕在化する中、せんだい男女共同参画財団は日頃から女性支援をしている女性たちとともに支援に取り組みました。支援を行う中で、大人の女性と子どものはざまで、中学生に必要な支援が届いていないのでは？と考え、十代の女の子たちへの支援も始めました。誰もが被災し傷を抱える中、女性が支援を「する」側に立ち、復興の担い手となることでのエンパワーメントを目指す活動でもありました。一方で、支援を通じて実感したのは、日常から女性たちが

が地域の中で力を発揮していくことの大切さでした。

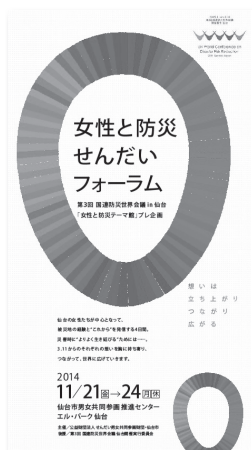
伝えたい思い

女性をはじめ、誰もが力を発揮する社会は、多様性に配慮したまちづくりからではないでしょうか。さまざまな背景をもつ人たちが声を上げることができ、率直に話し合えるコミュニティのあり方は、普段から住みよいまちをつくるとともに、災害をよりよく生き延びる強さとなります。

取り組みの力ぎは、「大切なひとや仲間たちを守りたい」という思いから始まる女性たちのリーダーシップ、先頭に立って引っ張るだけでなく、地域を見渡しお互いにフォローし合う「新しいタイプのリーダー」の存在にあることも見えてきました。すでに地域の中には、そうした力をもつ女性たちがいて、大切なひとの命を守るために、仲間とともに活動しています。「女性と防災」テーマ館は、そのような女性たちを見つけ出し、つながり、その力をもっと社会で発揮してもらえよう応援する場ともなります。

「女性と防災せんだいフォーラム」十二月開催！

国連防災世界会議に向けて機運を高めていくため、十一月二十一日～二十四日の四日間、エル・パーク仙台を会場に「女性と防災せんだいフォーラム」を開催します。仙台市男女共同参画推進センター利用団体の皆さんと、四月から参加自由の話し合いの場「フォーラムカフェ」で対話をつみ重ね、アイディアを出し合って作り上げました。



「誰でも参加できるフォーラムにしたい！」との思いから、三・一一からのいろいろな思いをスピーチしたり、日替わりテーマを設けてカフェのように話し合う場なども作ります。このフォーラムに寄せられる、仙台の女性たちの思いをぎゅっと集め、三月の国連防災世界会議で世界に発信していきます。

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

ーにぎやかに みやぎNPOフォーラムー

「みやぎNPOフォーラム 2014」が十月十九日、仙台市宮城野区榴ヶ岡のみやぎNPOプラザ（以下プラザ）で開かれまし
た。このフォーラムは、多くの市民にボランティアやNPOについて体感してもらったために年に一度、プラザを開放して開かれるものです。

今年のキャッチフレーズは「伝えよう 広げよう みんなの想い」です。宮城のNPO活動は、東日本大震災の経験を経て、新しい局面に入っています。それだけに参加者の関心も幅広く、NPOの多様な活動や心を次代につなぐことの重要性を考える一日となりました。

十八団体が参加した「NPOひろば」

プラザの会議室や研修室では「みやぎのNPOひろば」が開かれ、プラザに入居している団体など、シヨップ（販売コーナー）、レストランも含めると十八団体が参加しました。防災・減災、アートを楽しま表現できる社会づくり、若年投票率の向上など、それぞれの団体が向き合っているテーマは

多様で重要なものばかりでした。

普段は市民やNPOが自由に利用している交流サロンでは、午前中に「NPOのための写真撮り方講座」がありました。講師は写真家の福田沙織さん（Photo Win代表）。福田さんは「やるべきことを意識すると窮屈になる。まず、やってはいけないことを決めよう」と基礎的なポイントについて、事例をふんだんに使いながら丁寧に説明しました。「みやぎのNPOひろば」の様子を実際に写真撮影し、評価し合う場面もあり、分かりやすさ満点の講座でした。

ワークショップで課題浮き彫り

午後からはNPOのリーダー三人をゲストに迎えての「座談カフェ」が開かれました。参加者によるワークショップとゲスト三人の活動報告や質疑を組み合わせるスタイルで行われました。ゲストは、NPO法人20世紀アーカイブ仙台副理事長の佐藤正実さん、NPO法人ハーベスト常務理事の中山聖子さん、NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事の大久保朝江さん。

初めに参加者約四十人が五つのテーブルに分かれ、ワークショップ「今、そして今後、NPOが取り組むべき宮城の課題とは？」を行いました。今後の少子高齢化に伴い発生する地域課題、高齢者が働ける環境づくり、子ども世代が健やかに育つまちづくりの分野でNPOに寄せる期待が浮き彫りになりました。

同時に、NPOが自立的な組織運営に依然として苦労している点や「ミッションが強すぎる」半面、組織をまとめる統治能力が不足しているといった指摘が相次ぎました。

プラザではフォーラムで明らかになったさまざまな課題を解決するために多様なサポートプログラムを考えていきます。



▶座談カフェの様子

プラザのNPO相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談

毎週水曜

13:00～17:00

会計・税務相談

11/27(木)

13:00～17:00

融資なんでも相談

11/20(木)

13:00～17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者: 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



2015年度 JT NPO助成事業

～地域コミュニティの再生と活性化にむけて～

- 助成対象：非営利法人が日本国内において地域社会の核となって実施する、地域コミュニティの再生と活性化につながる事業
- 助成金額：1件あたり年額最高150万円
- 応募締切：2014年11月20日(木)必着
- 連絡先：日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL：03-5572-4290 FAX：03-5572-1443
URL：<http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/entry/index.html>

大和ハウス工業 エンドレス募金

- 応募資格：法人格を有して3年以上の活動実績がある非営利法人(2014年9月30日時点)
- 助成対象：育児支援に関する活動
- 助成金額：1団体につき年額上限150万円
- 応募締切：2014年11月30日(日)必着
- 連絡先：大和ハウス工業株式会社 CSR部
社会責任グループ エンドレス募金運営委員会
事務局
〒530-8241 大阪府大阪市北区梅田3-3-5
TEL：06-6342-1435
URL：<http://www.daiwahouse.co.jp/csr/contribution/funds/detail.html>

子どもゆめ基金 活動募集

平成27年度助成

- 助成対象：1.子どもを対象とする体験活動や読書活動
【体験活動】
①自然体験活動、②科学体験活動、
③交流を目的とする活動、④社会奉仕体験活動、
⑤職場体験活動、⑥その他の体験活動
【読書活動】
2.子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動
・フォーラム等普及活動
・指導者養成
- 助成金額：市区町村規模 限度額100万円
都道府県規模 限度額200万円
全国規模 限度額600万円
- 応募締切：郵送申請の場合 2014年12月3日(水)
電子申請の場合 2014年12月5日(金)
- 連絡先：独立行政法人国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金部 助成課
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
フリーダイヤル：0120-579081
(月～金9:00～17:45)
TEL：03-5790-8117・8118
FAX：03-6407-7720
URL：<http://yumekikin.niye.go.jp/>

芸術活動への助成

- 助成対象：・芸術的水準が高く、啓蒙普及的意義のある事業
・芸術家に発表の機会を広げる事業
・地域の文化向上に資する事業
- 助成金額：1件あたり約10万円から100万円余
- 募集締切：2014年12月15日(月)必着
- 連絡先：公益財団法人朝日新聞文化財団
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
明治生命館6階
TEL：03-6269-9441 FAX：03-6269-9442
URL：<http://www.asahizaidan.or.jp/grant/grant01.html>

平成26年度地域づくり団体活動支援

- 助成対象：地域づくり団体協議会の登録団体等が行う自主的・主体的な地域づくりのために講師等を招聘して開催する研修会等の事業(多数の聴講者を対象とし、営利を目的としないもの)
- 助成金額：上限20万円
- 応募締切：2014年12月31日(水)
- 応募先：登録している都道府県協議会
宮城県の場合、
宮城県震災復興・企画部地域復興支援課
みやぎ地域づくり団体協議会事務局
〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1
TEL：022-211-2423 FAX：022-211-2442
URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/tiikisinnkou/chiikidukuri.html>

平成27年度福祉助成金

- ＜ジャンプアップ助成金＞
- 助成対象：すでに障がい者の給料増額に一定の実績がある施設・事業所がさらに多くの給料を支払うための事業
- 助成金額：1件あたり定額500万円(最大15件程度)
- ＜ステップアップ助成金＞
- 助成対象：障がい者の給料増額に努力し、全国平均以上の給料支給実績がある施設・事業所がさらに多くの給料を支払うための事業の開始、設備の導入など
- 助成金額：1件あたり上限200万円(最大30件程度)
- ＜障がい者福祉助成金＞
- 助成対象：会議・講演会・研修・出版・啓発・調査・研究・スポーツ・文化事業・活動に対する助成
- ＜共通事項＞
- 応募締切：2015年1月10日(土)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-18
ヤマト銀座ビル7階
TEL：03-3248-0691 FAX：03-3542-5165
URL：<http://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy/>
詳しくはホームページをご覧ください。

高齢者や障がいのある方には利用しにくいホームページを多く見かけます。どうすれば誰もが利用しやすいホームページになるかが、今回のテーマです。

- 日 時：11月28日(金)19:00～21:00
- 場 所：名取市増田西公民館(名取市手倉田字堰根265-1)
- 講 師：武藤 正勝氏(NPO法人パートナーシップなとり理事)
- 内 容：19:00～20:00 講話
20:00～21:00 交流会
- 定 員：15名
- 参 加 費：無料 ※交流会参加費は200円
- 申込方法：下記連絡先にTELのうえ、参加。
交流会参加希望者は11月21日(金)までにお申込みください。
- 主 催：NPO法人パートナーシップなとり
- 連 絡 先：TEL：090-5848-3264 (担当：洞口)
URL：http://ps-natori.org/

12/4 活動を伝える！ NPOのための動画活用講座

SNSなどの普及により、日常的に身近なツールを使用して、気軽に『動画』を見たり、作成したりできるようになりました。この『動画』という手法を活用して、団体の活動を社会に広くPRしてみませんか？どんな団体PRの表現方法があるかを学び、団体のPR動画を作ってみましょう！

- 日 時：12月4日(木)14:00～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：漆田 義孝さん(NPO法人メディアージスタッフ)
- 内 容：◆動画を活用した団体(活動)紹介の事例とその効果について
◆動画を広く見てもらう方法とその際の注意点
◆実技(撮影&編集)
- 対 象：NPOや市民活動団体のメンバー・スタッフなど
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参 加 費：800円(税込)
- 参加要件：◆ある程度、FacebookなどのSNSやYouTubeなどの動画サイトを利用したことがあること
◆撮影機具、編集器具を持参できること
- 持 ち 物：ビデオカメラもしくは スマートフォン、iPadなどの撮影機具、パソコン(編集用) PC接続用ケーブル 等
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。申込書は下記URLよりダウンロードできます。
http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza_m20141204.html
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)

12/7 「若者に贈る 弁護士による仕事の悩み解決セミナー」

「一生懸命働いても正社員になれない」「給料が安い。昇給もこれっぽっち」「仕事ってなんでこんなにつらいの？」…今、こんな悩みを抱えている若者が多いと感じます。この講演会では、若者の仕事や生活が何でこんなに苦しいものなのか、何で悩みを抱えなきゃならないのか、そんな疑問に答えます。

- 日 時：12月7日(日)14:00～16:30 (開場13:30～)
※終了後に懇親会あり。参加希望の方は事前連絡をお願いします！
- 場 所：青葉区中央市民センター 第1会議室
(仙台市青葉区一番町2-1-4)
- 講 師：指宿 昭一氏(弁護士、暁法律事務所)
- 定 員：60名
- 参 加 費：500円
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 主 催：WorkKafe (ワーカフェ)
- 連 絡 先：担当：安藤
TEL：080-3339-1405
E-mail：workafe219@yahoo.co.jp
URL：http://workafe.nomaki.jp

12/12 話さナイトカフェ

「食」は、忘れない味・受け継がれていく味。人とのコミュニケーションで食は大切です。そして、「音楽」は、様々なジャンルから楽器・演奏まで幅広いと思います。熱く語り様々な音楽に触れて楽しんでみましょう。「食」、「音楽」に興味がある人、集まれ～！

- 日 時：12月12日(金)18:30～21:00
- 場 所：大崎まちづくり支援センター きらっと
(大崎市古川米倉字屋敷42-1)
- 話題提供：「食」小玉 仁志さん(ウラバタケcafé オーナー)
「音楽」交渉中
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：2,000円(飲み物・軽食付き)
- 申込方法：下記連絡先へTELまたはFAX、E-mailで申込み
- 主 催：NPO法人おおさき地域創造研究会
- 連 絡 先：〒989-6134 大崎市古川米倉字屋敷42-1
TEL：0229-25-9956 FAX：0229-25-9958
E-mail：mail@otsk-kiratto.org
URL：http://otsk-kiratto.org

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

編 集 後 記

今回、夢みの里さんの街角 Café 桜を取材させて頂きました。まず最初に、カフェのお洒落な外観と内装に目を奪われました。理事長の菅原さんが「利用者の方が、福祉施設ににいるということを感じない雰囲気を目指している」と仰っていて、こだわりが感じられました。美味しいごはんを食べてゆっくり過ごして、悩みを相談して…街角 Café 桜で癒されて下さいね。(いしのまきNPOセンター・武山)

- 対象：在住外国人とその家族、支援者
- 参加費：無料(要事前申込。お早めにお申込みください)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み
- 主催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
TEL：022-275-3796
E-mail：mail@mia-miyagi.jp
URL：http://mia-miyagi.jp/

11/22 ミュージカルあいうえおばさん 多賀城公演

自然がいつもそばにあったあの時代。川のせせらぎ、土のにおい、木の葉をゆらす風。古きよき時代になってしまったあの風景が、楽しい50音の語呂合わせの歌によって今このステージでよみがえります。

- 日時：11月22日(土) 13:30開場 14:00開演
- 場所：多賀城市民会館 大ホール(多賀城市中央2-27-1)
- 入場料：1,000円※全席自由(当日券あり)
- チケット：購入場所はお問い合わせください。
- 主催：NPO法人ミューズの夢
- 連絡先：TEL/FAX：022-267-9540
E-mail：info@musenoyume.jp
URL：http://musenoyume.jp/

11/23 障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロンカフェ」

仙台市では、「共生社会」の実現のために、障害を理由とする差別の解消を推進するための条例の制定について検討を開始しました。条例の検討にあたり、障害の有無にかかわらず、市民の皆さんと一緒に理解を深め、意見交換を行う場として、ワークショップを開催します。

- 日時：11月23日(日)14:00～16:00
- 場所：仙台市役所本庁舎8階ホール(仙台市青葉区国分町3-7-1)
※公共交通機関でお越しください。
- 内容：開催趣旨説明、ワークショップ
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL、FAX、E-mailにて申込み
※手話・要約筆記などの配慮が必要な方は、事前にお問合せください
- 申込締切：11月17日(月)
- 主催：仙台市
- 連絡先：仙台市健康福祉局健康福祉部 障害企画課企画係
TEL：022-214-8163 FAX：022-223-3573
E-mail：fuk005330@city.sendai.jp

11/23 森と暮らしを考える特別セミナー

森づくりや家づくりに実際に取り組んでいる現場の声、そして

て日本の森バイオマスネットワークの取組みも紹介されている「東北の森から明日を考える」の上映も行います。教育とバイオマスという切り口から森と人のこれからの関わりを語ります。

- 日時：11月23日(日)12:30～17:00
- 場所：オーエンス泉岳自然ふれあい館(仙台市福岡字岳山9-8)
- 内容：第1部12:30～14:30「森づくりと暮らしづくり」
講師：田手 扶紀さん
(NPO法人しんりん事務局兼きこり)
大場 江美さん
(株式会社サスティナライフ森の家)
第2部15:00～17:00「火育と木質バイオマス」
講師：佐々木 豊志さん
(NPO法人バイオマスネットワーク理事長)
大場 隆博さん
(NPO法人バイオマスネットワーク副理事長)
- 定員：100名(要事前申込み)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで、氏名、参加人数、連絡先(TEL、E-mail)をお知らせください
- 主催：NPO法人日本の森バイオマスネットワーク
- 連絡先：TEL：0228-22-6721 FAX：0228-55-2001
E-mail：office@jfbn.org
URL：http://jfbn.org/

11/24 障害があっても地域の学校で学び合おう～普通学級の実践から考える

障害があると、特別な場所で、特別な支援をすすめられます。でも、障害があっても地域で生きるとは当たり前の権利。学校だって同じこと。長年共に学ぶ教育に携わってきた片桐さんのお話を聞きながら、地域の学校で学ぶこと、就学・学校での悩み等について、皆さんと考えたいと思います。

- 日時：11月24日(月・祝) 13:30～16:00
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講師：片桐 健司氏(障害児を普通学校へ・全国連絡会運営委員)
- 参加費：500円
- 申込方法：下記連絡先へ問合せ
- 主催：共育を考える会
- 連絡先：〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1
(コッペ内 担当:飯嶋)
TEL/FAX：022-299-1279
E-mail：muginokai@k5.dion.ne.jp

11/28 名取・市民活動講座 みんなで語ろう!! 高齢者や障がいのある方にもやさしいホームページ

いまや生活に不可欠なものとなったインターネットですが、

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類は
こちらから確認できます

■宮城県

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html

■仙台市

http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体			
団体名	所在地	活動内容	受理日
仙台市 ケア・コンピタンス協会	青葉区	教育・研究事業、講演会・セミナー・勉強会の実施事業、広報事業	9/30

NPO法人に認証された団体			
団体名	所在地	活動内容	認証日
仙台市 在宅療養支援 介護隊	宮城野区	医療と在宅医療の連携の為に関係する事業、在宅医療・介護に関わる従業者の育成の事業、在宅医療・介護に関わる従業者用保育所の設置及び関係する事業等	9/18

宮城県のNPO法人数

779団体 (宮城県等所轄:366団体 仙台市所轄:413団体) ※2014年 10月10日現在

- ②11月29日(土)13:30~16:30
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階b会議室
 - 講 師：①神坂 礼子氏(コピーライター)
庄子 隆氏(フォトグラファー)
②真山 正太氏(グラフィックデザイナー)
神坂 礼子氏(コピーライター)
 - 内 容：①現場で即役立つコピーと写真での広報・広告
作りのコツ、写真の撮り方を学ぶ。
②コピーライターとデザイナーの現場での打合
せ内容大公開！コピーとデザインの制作。
 - 定 員：各回20名(先着順)
 - 参 加 費：1講座につき2,000円
口座への振込をもって申込受付完了とさせてい
ただきます。※ご入金後の返金はできません。
【振込先】★ゆうちょ銀行 八ー八店(818)
普通預金 1172895
名義：シヤ)メディアデザイン
★仙台銀行 黒松支店(店番202)
普通預金 3347081
名義：シヤ)メディアデザイン
 - 申込方法：下記連絡先に希望講座、氏名、住所、連絡先を
明記し、E-mailか下記URL申込フォームから申
込み。E-mailがご利用いただけない方はお電話
でお申込みください。
 - 主 催：一般社団法人メディアデザイン
 - 連 絡 先：TEL：090-4048-4583 (担当：神坂 平日日中のみ)
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/lecture_blog/article-4598/

11/16 「傾聴ボランティア養成講座3日間コース」

当会では、傾聴ボランティア活動を通して、孤立する方々の
心に寄りそうことを心掛けております。日常の中に生かせる
「傾聴」、あなたも身につけてみませんか。3日間全過程出席
の方に、修了証を発行いたします。

- 日時内容：1日目 11月16日(日)10:00~15:00
「傾聴の基本」「共感と受容」
2日目 11月28日(金)10:00~15:00
「傾聴スキル」「ロールプレイング」
3日目 12月3日(水)10:00~15:00
「認知症」「コミュニケーションエクササイズ」
- 場 所：仙台市福祉プラザ 1階プラザホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
※3日目のみ11階第1研修室
- 持 ち 物：筆記用具・昼食(各自持参ください)動きやすい
服装でご参加ください
- 定 員：30名(定員になり次第締切)
- 参 加 費：6,000円(振込)
【振込先】ゆうちょ銀行 記号番号02220-8-134520
- 申込方法：下記連絡先へ電話で申込みの上、参加費を振込み
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連 絡 先：TEL：090-6253-5640
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://blog.canpan.info/morimori/

11/21 アフリカの風。大地の香り。 2014 pole pole tour in Sendai ～アマニとアフリカ マゴソスクールとの絆～

アマニ・ヤ・アフリカ毎年恒例イベント！私達がケニアでサ
ポートしているマゴソスクールの近況や、今、ケニアで何が

起きているのかを紹介します。

- 日 時：11月21日(金)19:00~20:50
- 場 所：仙台市シルバーセンター 第1研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：早川 千晶さん、近藤 ヒロミさんによるトーク&ライブ
(ケニア、マゴソスクールのお話、歌、演奏など)
- 定 員：100名
- 参 加 費：一般1,500円、会員または学生1,200円、
高校生以下無料
- 申込方法：下記連絡先に、FAX、E-mailにて申込み
- 主 催：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
- 連 絡 先：〒980-0803 仙台市国分町3-10-34-205
TEL：090-2975-6946 FAX：022-702-2574
E-mail：info@amani-ya.com
URL：http://amani-ya.com/

11/21 「女性と防災せんだいフォーラム」 ～想いは立ち上がり つながり 広がる～

.....
仙台の女性たちが中心となって、被災地の経験と“これから”
を発信する4日間です。さまざまなテーマでのシンポジウム
や映画上映、語り合い、ワークショップ、リレースピーチな
どの企画が盛りだくさん。防災ゲーム、手しごと品マーケッ
ト、災害時の食を考えるミニイベントなどもあります。

- 日 時：11月21日(金)~11月24日(月・祝)
- 場 所：エル・パーク仙台
- 参 加 費：無料(一部実費負担の体験コーナーがあります)
- 託 児：あり(すべてのイベントに託児がつきます。11/13
まで要申込。先着順)
- 内 容：災害、女性、防災をキーワードに様々なシンポ
ジウムを開催します。
21日「オープニングスピークアウト 発信!発進!」
22日「災害と女の子たち、そして暴力」
「支援者の支援」
23日「災害とセクシャリティ・ジェンダー」
24日「災害から地域を守る~防災復興に女性の力を~」
その他の企画詳細はHPをご覧ください。下記
連絡先までお問い合わせください。
- 主 催：仙台市、公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連 絡 先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・パーク仙台
TEL：022-268-8300 FAX：022-268-8304
URL：http://www.sendai-l.jp

11/22 ～いつも元気でいるために ～外国人のためのストレスケア教室

.....
日本に暮らす外国人には言葉や文化などの違いにより大きな
ストレスがかかります。この異文化ストレスについて正しく理
解し、ストレス解消方法をみんなで楽しく学んでみませんか？

- 日 時：13:30~16:00 (13:00開場) ※下記会場共通
【登米栗原地区】11月22日(土)
ホテルニューグランヴィア
【石巻地区】12月7日(日) 石巻グランドホテル
【大崎地区】12月13日(土) 芙蓉閣
- 講 師：一條 玲香氏(臨床心理士)
- 内 容：ストレスは心や体とつながっています。自分の
ストレスに気づこう。ストレス解消法をみんな
で考えよう。※通訳つき

マは「とびだせ・ど・dot(どっと)」)。メンバーの持つ魅力が、絵や音楽、パフォーマンス、あるいは製品…、さまざまな形になって、世の中に明るく飛び出してほしい。そんな願いが込められています。どうぞお気軽に、遊びに来てください！

- 開催期間：11月8日(土)～11月22日(土) ※月曜お休み
- 内 容：●「tam tam dot」の展示販売
 - cafe&shopたむたむ亭
(営業12:00～17:00 ランチタイムは14:00まで)
- 11月8日(土)15:00～17:00
 - ・山下完和氏講演会
「ボクの色、私のカタチ～やまなみ物語～」
(要申込、参加無料)
 - ・レセプションパーティー 18:00～20:00
(要申込、参加費2,500円)
- 11月15日(土)10:00～12:30 ラクガキ隊!!
(出入り自由、参加無料)
- 11月16日(日)13:00～14:30
作って遊ぼう！中国ゴマ
(要申込、参加費1,500円1ドリンク付き)
- 11月22日(土)17:00～19:00
三味線LIVE!! (チケット1,500円1ドリンク付き)
- 申込方法：下記連絡先に参加したいプログラム、参加者名(全員)、連絡先をお知らせください。
- 主 催：NPO法人多夢多夢舎中山工房
- 連絡先：事務局
〒981-0952 仙台市青葉区中山2-18-5
TEL：022-277-0081 FAX：022-277-8809
E-mail：info@tamutam.jp
URL：http://tamutam.jp/

11/14 SSG仙台発そなえゲーム ファシリテーター養成講座

「SSG仙台発そなえゲーム」は、プレイヤーが架空の住民になって、「災害に備えるために、自分や地域に何が必要か、何ができるか」について考えながら、実践的に学べる参加型ボードゲームです。今後は、「SSG仙台発そなえゲーム」を宮城県から全国への普及を目指し、ファシリテーターの養成講座を実施します。

- 日 時：3回連続講座、各回受講希望日にご参加ください。
①→②→③の講座順で受講していただきます。
①11月14日(金)14:30～16:30
12月5日(金)14:30～16:30
1月9日(金)14:30～16:30
②11月29日(土)10:00～12:00
12月5日(金)18:00～20:00
1月9日(金)18:00～20:00
③11月29日(土)13:30～16:30
12月19日(金)9:00～12:00
1月30日(金)9:00～12:00
- 場 所：仙台市福祉プラザ(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内 容：①SSG仙台発そなえゲームの説明、体験
②SSG仙台発そなえゲーム実践
③ファシリテーターの実践
- 定 員：各回20名
- 参加費：3,000円(資料代)
※初回講座受付時にお支払いください。
- 申込方法：下記連絡先まで、各回の受講希望日、氏名、年代、ご所属、住所、連絡先をご記入の上、FAX、E-mailにて事前申込み
- 主 催：市民協働による地域防災推進実行委員会

- 連絡先：事務局(NPO法人FOR YOUにここにこの家 内)
担当：小岩、大野
TEL：022-241-0858
E-mail：nikoniko@w2.dion.ne.jp

11/15 考えるテーブル「3.11キラクのキロク公開サロン」第14回 3月12日はじまりのごはん ～いつ、どこで、なに食べた?～

あなたは地震の翌日、なにを食べましたか？今回は、震災の記録写真を撮影した市民の方々をゲストに迎え、期間中会場に展示した写真に寄せられたお話をもとに、被災後どう暮らしていたか、来場者の皆さんと語り合います。

- 日 時：11月15日(土)15:00～17:00
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階スタジオ a
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 参加費：入場無料
- 申込方法：事前申込不要・直接会場へ
- 主 催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
3がつ11にちをわすれないためにセンター
(せんだいメディアテーク)
- 連絡先：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
TEL：022-387-0656 FAX：022-387-0651
E-mail：npa@20thcas.or.jp
URL：http://www.20thcas.or.jp/

11/15 「支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座」

関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよいかわかるといふ、という方々を対象に、全国各地の実践報告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっかけとすることを目的に開催します。講座は3段階形式で実施します。各講座の詳細、今後の日程は下記URLをご覧ください。http://www.clc-japan.com/140822/

- 【石巻会場】◆3回目11月15日(土)13:00～16:30
実践報告：にしむらたんぼハウス(熊本県西原村)
・会場：石巻市保健相談センター・3階 講義室
・定員：45名
- 対 象：どなたでも
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にFAX、またはTELで申込み。
HPから申込可能
- 申込締切：受講を希望される講座の開催日10日前まで
- 主 催：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
- 連絡先：担当：橋本・堀切
連絡先はP14右上をご覧ください。

11/15 メディアデザインオープンスタジオ ～クリエイター入門編～

仕事でもプライベートでも日常のあらゆる場面でデザイン的な素養や知識が求められる時代を迎えています。そこで、私たちは各ジャンルの経験豊富なクリエイターがコラボして、広報や広告制作に関する基礎知識やちょっとしたコツを伝授するワークショップを開催します。

- 日 時：①11月15日(土)13:30～16:30

TEL:0225-25-5602(10:00~18:00 定休日:金曜・祝日)
E-mail: kasetsukizuna@pbv.or.jp
URL: http://pbv.or.jp/ishinomaki-psen/

お知らせ

貸ギャラリーあります ～オリジナルの作品展を開いてみませんか～

.....
当店の壁面ギャラリーを利用して作品展を開催される方を募集します。※ご利用にあたり、簡単な審査があります。詳細につきましては、お気軽にお問合せ下さい。

- 場 所: Cafe&Art Restaurant オリーブの風
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ1階)
- 展 示 品: 絵画・写真・版画・手芸品 など
- 費 用: 無料
- 期 間: 2015年1月～12月の間で約1ヶ月
- 主 催: NPO法人シャロームの会
(Cafe&Art Restaurant オリーブの風)
- 連 絡 先: 担当(伊勢、牛澤)
TEL: 080-5731-4345 (火～土 9:00～17:00)

「S-1グランプリ 第2回 いがす大賞」募集開始

.....
2011年3月11日に発災した、東日本大震災。震災後、地域にはさまざまな住民活動やつながりが生まれました。たとえば小物づくりで新たな仲間ができたり、身のまわりのちょっとした困りごとを仲間同士で助け合ったり…あなたのまわりにもそういった活動がきっとあるはず。それぞれのまちで実践されている、地域が明るくなるような活動、参加者がいきいきした活動、思いがあふれる活動など、あなたの身近にある元気な活動をみんなに発表しませんか？

- 応募対象: ①東日本大震災で被災した地域での人とまちを
(活かす、イカしてる)取組み
例)見守り支援、語り部、生きがい仕事、まちおこし等
②東日本大震災以外の災害を取り組んだ「いがす」実践事例
- 応募方法: 応募用紙と一緒に活動内容のわかる補足資料(動画、画像、音声、パワーポイントデータ等)を同封し、事務局まで郵送
応募用紙はHPからダウンロード可能
<http://www.clc-japan.com/events/detail/6175>
- 審査方法: 予選審査会～本選審査会を実施し、選考の結果、最終的な受賞団体を決定
- 表 彰: 大賞10万円+副賞、準大賞3万円+副賞
※応募者全員に記念品を贈呈
- 応募締切: 11月28日(金) 必着(自薦のみ)
- 主 催: 「S-1グランプリ 第2回 いがす大賞」実行委員会事務局

●連 絡 先: NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
(担当: 小野寺)
〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1階
TEL: 022-727-8730 FAX: 022-727-8737
URL: <http://www.clc-japan.com/>

事業案内

栗原パソコン教室

.....
パソコンに興味のある人、高齢者、障害者のための「教えあい学習」を行っています。ご自身のパソコンを持参して学べます。ご希望の方は是非ご連絡ください。一緒に楽しく学びましょう！

- 活 動 日: 月曜日～土曜日
(月)志波姫、(火)一迫・鶯沢、(水)築館・高清水
(木)若柳・金成・築館、(金)瀬峰・栗駒、(土)金成・築館
- 実施内容: 文書作成
- 参 加 費: 入会金 1,000円
会 費 2,000円/月(月4回受講)
- 連 絡 先: IT同好会フレッシュパール会
〒987-2216 栗原市築館伊豆2-6-1
TEL: 0228-22-6208/080-1830-2822
URL: <http://it-freshpearl.jimdo.com/>

フラワーセラピー短期ショップ キャロブラン仙台

.....
ワイルドフラワーの販売及び、ワイルドフラワーを使った作品を販売します。手作り作品やリボン、カゴ、リース等の花材販売のほか、フラワーセラピー体験も随時実施。今回の体験教室では、お正月飾りを作ります。

- 日 時: 12月10日(水)～12月16日(火) 10:30～15:00
※14日(日)、15日(月)お休み
- 場 所: みやぎNPOプラザ短期ショップスペース
- 内 容: フラワーセラピー体験教室随時受け入れ
- 参 加 費: 1,000円(材料費込み)
- 主 催: NPO法人フラワーセラピー研究会 仙台地区
- 連 絡 先: TEL: 090-9428-4342 (担当 上野)

イベント

11/8 たむたむ12 (tam tam12)

.....
多夢多夢舎ができてから、12周年になりました。今年のテー

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2014.10.16現在)敬称略

●正会員 50名

<気仙沼市> ●NPO法人泉里会
<登米市> ●NPO法人どんぐりの家
<仙台市> ●NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城

●賛助会員 76名

<登米市> ●NPO法人とめ市民活動フォーラム
<石巻市> ●西公園プレーパークの会 阿部正樹
<東松島市> ●NPO法人創る村
<仙台市> ●市川喜巳 ●田村雪子 ●平野卓也 ●宮内昭穂
●安田邦夫 ●NPO法人あかねグループ
●生活協働組合あいこぼみやぎ ●NPO法人童里夢
●みやぎ生協生活文化部

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

10月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

E-mail : info@sun-pucho.com
URL : <http://www.sun-pucho.com/>

協力会員募集 あなたの時間を活かしてみませんか？

“ゆうあんどあい”は、会員同士が相互に援助活動を行う法人です。あなた（YOU）とわたし（I）で助け合いの輪を作り、地域に根差した活動を広げ、安心して暮らせるネットワークづくりを目指しています。

- 活動内容：家事援助（主に高齢者対象で掃除、食事作り、買い物、洗濯）、通院の介助、産前産後のお手伝い、その他（相談）
- 活動時間：活動できる曜日と時間を登録していただきます。
- 活動謝礼：800円（1時間）
- 活動場所：主に仙台市内
- その他：2時間程度の基礎研修を受けていただきます。
- 入会時：入会金2,000円、年会費3,000円
- 応募主体：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：ふれあいサロン・榴岡
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-13-18
リラ榴岡1階
TEL：022-792-7020 FAX：022-792-7021
URL：<http://npouyouandi.sakura.ne.jp/>

障害者施設での美術の時間をサポートするボラ募集！@仙台

仙台で「すべての人にアートを」をスローガンに活動している、すんぶちよです。毎週仙台市中山にある障害者施設でそれぞれの個性を引き出しながら、美術の創作ワークショップを開催しています。アシスタントが不足しており、美術の創作活動が好きな方、障害者施設でのボランティアに興味がある方を募集中です。

- 活動内容：・約1時間半のアートワークショップのサポート
・参加者の画材の準備や、創作活動のお手伝い
・知的障害のある方のケア
- 活動日時：毎週金曜日16時～17時半まで（1時間半）
- 活動場所：NPO法人法人多夢多夢舎中山工房
（仙台市青葉区中山2-18-5）
- 条件：・開催場所である多夢多夢舎中山工房まで自力でこれる方
※大変申し訳ありませんが交通費の支給はありません
・大学生以上
・美術の教員だった方、その他アート活動に携わったことのある方大歓迎！
・福祉施設でのボランティアに興味のある方大歓迎！
- 募集人数：3人
- 申込方法：下記連絡先までご参加の旨ご連絡ください。
見学でも構いません。
- 応募主体：すんぶちよ（NPO法人申請中）
- 連絡先：TEL：090-1933-9823（担当：及川）

経済的に余裕のない子どもたちに寄りそう学習サポーター募集！

生活保護やひとり親家庭の中学生を対象とした居場所づくり・学習サポート事業です。子どもたち一人ひとりに寄りそって、宿題のサポートをしたり、話の聞き役になってくださるボランティアを募集しています。

- 活動時間：月～金18:00～21:00（週1回程度）
- 活動場所：仙台市内10ヶ所（青葉区・太白区）、岩沼市1ヶ所のうち、いずれかの拠点。
- 応募条件：・相手の話に耳を傾けて共感することができ、自分の意見を押しつけない謙虚な方。
・最低3ヶ月は継続して参加いただける方。
・高校生以上、概ね65歳以下の方。
- 活動謝礼：活動への謝礼はお支払いしませんが、交通費は全額団体で負担します。
- 申込方法：下記連絡先TEL、E-mailでお問合せください。まずは1時間程度の登録面談をさせていただきます。
- 応募主体：NPO法人アスイク
- 連絡先：担当：佐々木
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21
コーポ小松101
TEL：022-781-5576 E-mail：info@asuiku.org
URL：<http://asuiku.org>

記者ボランティア募集

ピースポート災害ボランティアセンターでは、仮設住宅に暮らす方々向けに、ハッピーニュースや仮設住宅を住みこなすコツ等をまとめた「仮設きずな新聞」を定期的に発行し、ボランティアの手で配布しています。仮設住宅で今もっとも必要とされている「情報」を、アナタの言葉で届けてみませんか？

- 活動内容：復興に向けた取り組みや仮設住宅に暮らす方々取材（インタビュー等）し、記事を執筆する
- 活動時間：9:00～18:00
- 応募条件：・石巻（活動拠点）までお越しになれる方。
（現地集合・現地解散）
・2週間以上、継続して活動できる方
（1ヶ月以上の参加を推奨）
・16歳以上（高校生以上）65歳以下の方。
・未成年の場合は、保護者同意の上、所定の「未成年合意書」の書類提出をお願いしています。
・ノートパソコン、ICレコーダー、カメラ等、取材および記事の執筆に必要な道具を準備できる方
- 申込方法：下記連絡先まで、氏名、連絡先（TEL、住所、E-mail）、性別、運転免許の有無をご記入の上、ご連絡ください。
- 応募主体：ピースポートセンターいしのまき
- 連絡先：担当：岩元

■主催 宮城県 ■企画・実施 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

NPOの組織運営力サポート 始まります!!

NPO活動を継続させるためには、やる気や熱意はもちろんのことながら、加えて組織運営力が欠かせません。これから来年春にかけて、宮城県およびゆるるは会計、税務・労務管理、認定NPO法人化の3本柱でNPOのみなさんをサポートしていきます。今回は認定NPO法人化サポートのお知らせです!

まずは
認定NPO法人化

認定NPO法人制度を知る講座

寄付への税制優遇、みなし寄付による減税など、認定NPO法人には資金調達面においてさまざまなメリットがあります。にもかかわらず認定NPO法人を取得している法人は多くありません※。その理由の一つは、「認定を取るのって難しそう…」という敷居の高さではないでしょうか。この講座では、認定NPO法人制度というものがどのようなものなのか、その概要を初心者にもわかりやすく説明します。
※2014年10月現在、宮城県内で11法人(仮認定含む)

11/25 大崎
火 13:30~16:30
@大崎市民活動サポートセンター
(大崎市古川駅前大通1-5-18 ふるさとプラザ内)

11/26 石巻
水 13:30~16:30
@みやぎ生協文化会館アイトピア ホールA
(石巻市中央2-7-3)

12/2 大河原
火 13:30~16:30
@宮城県大河原合同庁舎別館 第1会議室
(柴田郡大河原町字南129-1)

2月上旬 仙台
※詳細が決まり次第お知らせ致します

各回共通/講師:大久保 朝江氏(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)/参加費:無料/定員:20~30名
/申込方法:杜の伝言板ゆるるまでTEL、もしくはWEB申込フォーム(<http://urx.nu/dltB>)から

さらに

12/9
火

【認定NPO法人セミナー】

「そこが知りたい! 認定NPO法人」開催!

講演



関口 宏聡氏

NPO法人シーズ・市民活動を
支える制度をつくる会 常務理事

時間 13:30~
16:00

場所 @仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(2)A
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER 6F)

事例発表
パネルトーク

宮城の認定NPO法人が事例発表を交えながらディスカッションを行う、県内初の試み!
「認定になるとどうなるの?」がわかるかも…!?

パネラー

- 大沼 えり子氏(認定NPO法人ロージーベル理事長)
- 相馬 潤子氏(認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット代表理事)

相談会

16:00~17:30

セミナー終了後、認定NPO法人化を目指す法人に対して個別の相談会を実施します。
こちらは事前申込の先着2団体限定メニューです。

参加費:無料/定員:50名/申込方法:杜の伝言板ゆるるまでTEL、もしくはWEB申込フォーム(<http://urx.nu/dmbZ>)から

認定NPO法人制度を知る講座申込フォーム



認定NPO法人セミナー申込フォーム

